

vol.227



2025「夏号」

JAとよごろ広報誌

夏

か が や き



第47回 通常総会

取扱高 過去最高137億円



5月20日開催の通常総会は本人出席のほか委任状と議決権行使書面を含め177名が出席しました。

冒頭は山口組合長より「本年の4月は天候不順であったものの直近では好天気がつづき、豊穰の出来秋を期待したい。決算では取扱高が最高額137億円の実績で終了し、皆さんの努力が報われる結果となった。一方、営農資材品の価格高騰が起因し、農家経済は依然厳しいが、我々は中央要請において販売物単価等の在り方について十分検討を重ね皆様の所得向上に貢献したい。本町の農業は以前より町や関係機関の支援により生産基盤整備の強化に注力している。有機質の活用が地力を高めることは今も昔も変わらない。生産収量を向上すべく皆様におかれても継続してすすめてほしい。」と開会挨拶を述べました。

按田町長より、町農業行政推進の協力を感謝を賜り、

続いて十勝総合振興局 森山産業振興部長より、北海道農業の発展貢献に感謝を賜りました。最後に系統連合会を代表してＪＡ北海道中央会 小椋副会長理事から、農業を取り巻く情勢、ＪＡグループの取組内容の説明があり、系統連合会への理解と協力の感謝を賜り、以上の三者より盛会を祝す挨拶を頂戴しました。

議事の進行に際しては、議長に田頭保さんと門晃嗣さんを選任し議案書に沿って議事を諮りました。議事は決算報告の令和6年度決算貸借対照表、損益計算書、注記表並びに会計監査人監査および監事の監査を報告し、議案は事業報告、剰余金処分案、令和7年度事業計画など全6案を提出し、審議の結果、全て原案通り可決しました。

田頭議長は議事終了の際、「まずは皆様のご協力により議事が終了し、安心しております。私事ではありますが、今から28年前に私たち家族は牛を持つ夢を抱き豊頃に就農しました。当時は右も左もわからず不安でしたが、ＪＡ豊頃町をはじめ町民の皆さんに温かく迎えていただき感謝しております。多くの方が「何者が来たのか」と思われたのではないのでしょうか。ここまでご高配にあずかり心よりお礼申し上げます。議長を指名賜り微力ながら務めましたが、大変貴重な経験となり今後の人生に役立つことを自ら期待します。これで議長の役割は終わらせていただきますが引き続き皆様とよりよい地域農業を支えていきたいです。」と挨拶し降壇しました。

事業計画の大綱（一部抜粋）

昨年は第31回ＪＡ北海道大会では「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」「ＪＡの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」等の3議案を決議しました。今後は達成に向けて、組合員との対話を通じて、加速する社会・経済環境の変化へ適応し、持続可能な経営基盤の強化と人づくりに取り組んで参ります。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、期待に応える良質な農畜産物の提供に地道に取り進むべく、組合員をはじめ役職員が一丸となった活力あるＪＡづくりを推進して参ります。

【実践事項】

- ◆ 出資金増口計画の実施・老朽化施設の更新計画の樹立
- ◆ 緊急暗渠排水整備事業
- ◆ 電気牧柵導入・狢友会の駆除に対する助成措置
- ◆ 土壌・飼料分析に関する助成措置
- ◆ 家畜防疫対策 乳房炎並びにサルモネラフクチンに対する助成
- ◆ 第7次農業振興計画・中期経営計画の達成
- ◆ 農薬・投薬等等使用基準の適正化
- ◆ 廃プラスチックの適正処理
- ◆ 人間ドック・脳ドック・PETがん検診の受診奨励
- ◆ 不祥事未然防止対策・コンプライアンスの取り組みの強化



酪農3団体 定期総会

4月16日、豊頃町乳牛検定組合、豊頃酪農ヘルパー有限責任事業組合、豊頃町酪農振興会の3団体は『定期総会』を開催しました。

来賓の按田町長、川口専務より祝辞が述べられた後、各団体の総会が始まりました。

乳牛検定組合は田頭組合長の挨拶後、令和6年度事業報告を含む全3議案を承認しました。

酪農ヘルパー組合は井下組合長の挨拶後、令和6年度事業報告を含む全5議案を承認し、会中では令和7年度より新規採用の永井職員が、組合員に抱負を述べました。

酪農振興会は津久井会長の挨拶後、令和6年度事業経過報告を含む全4議案を承認しました。



令和7年度 定期総会 豊頃町農政協議会

4月10日、令和7年度定期総会を開催しました。

約30名の会員が出席し、前田委員長の開会挨拶に始まり、按田町長、山口組合長、十勝地区農民連盟の山端副委員長の3者が祝辞を述べました。

議事では令和6年度運動経過報告、収支決算報告の承認のほか、令和7年度運動方針案、収支予算案の承認など全8議案を審議し、全議案賛成多数で可決しました。



総会・懇親会

生き甲斐部

4月10日、十勝川温泉第一ホテルにおいて、第53回JA豊頃町生き甲斐部定期総会を開催し、部員18名（うち役員10名）が出席しました。

定期総会では、青田悦夫さんを議長に選任し、円滑に議事をとり進めました。令和6年度事業・収支決算報告、令和7年度事業計画・収支予算案、役員改選の全議案を出席部員全員の賛成により承認しました。

うち次年度予算案では、昨今の物価高騰による対策として周年記念事業積立金の増額が決定しました。

津久井清美部長は冒頭「今後も部の活動を通して見聞を広げていきたい。一連の活動を例年同様推進められたのは、部員の皆様、関係各位の方々のご協力の賜と改めて感謝している。」と述べ、川口修専務理事からは祝辞の中で「JA組合長杯ゲートボール大会では参加人数が少なかったもので、今年はたくさんの方と楽しみたい。」と述べました。

続く懇親会では、門邦彦常務理事の乾杯の発声で会がスタートし、近況報告や研修先候補などについて歓談しました。余興のビンゴ大会では部員〇氏の提案で急遽2列ビンゴを行い、リーチが続出もなかなかビンゴには至らず。それでも後半には続々と穴だらけのカードと景品を交換していました。令和7年度の役員体制は以下の通りです。

新役員体制

部 長	永 原 初 男（新任）
副部長	渡 部 健 一（新任）
監 事	津久井 清美（新任）
監 事	神 谷 秀 秋（再任）



夏季道内研修

6月23日から2泊3日で開催した研修に12名の部員が参加しました。

1日目、サロマ湖鶴雅リゾートで昼食後、龍宮台展望台と能取岬に寄り、サロマ湖とオホーツク海の景色を楽しんで宿泊地の網走へ向かいました。夕食は「網走ビール館」で焼

き肉を堪能し、購買課長の伝手で見つけたスナック店での二次会では全員が参加して盛り上がりしました。

2日目、清里のじゃがいも焼酎工場を見学した後、バスドライバーさんの提案で斜里から羅臼へ向かう経路を変更し、夕方に予定していた知床峠へ向かいました。「人生で一番綺麗に見える」と部員Tさんが言うように国後島がはっきり見え、その絶景に皆さん喜んでいました。ホエールウォッチングでは、10頭ほどのシャチの群れが一斉に泳ぐ姿や、船に興味を示したシャチが顔を出す姿などを見ることができました。夜は知床第一ホテルのバイキングを堪能し、ホテル内のカラオケBOXで行った二次会をこの日も全員参加で楽しみました。多くの部員は、温泉入浴を翌朝に満喫しました。



3日目、観光船でカムイワッカの滝までの雄大な景色を楽しみました。部員Tさんは船内で双眼鏡をレンタルし熱心に熊を探しましたが、時間内に見つけることが叶いませんでした。オシンコシンの滝でマイナスイオンを浴び旅の疲れを回復させて帰路へ向かいました。お昼は標津でサーモンステーキを食べ、三カ所の道の駅（尾岱沼、厚岸、白糠）で休憩とお土産を買いながら午後6時前に無事JAに到着しました。知床の熊は見られず残念でしたが、自然を満喫し皆さんとても満足した様子でした。

魚つきの森 植樹祭

5月17日、町有林地（安骨）において十勝魚つきの森推進協議会（中村純也会長）による植樹祭を開催しました。

町内の各産業団体や大津小学校の生徒、ＪＡより川口専務と職員数名が参加し、森林組合の方に丁寧に指導を受け、緑豊かな未来へ繋ぐため一本一本丹精込めてカラマツの苗木700本を植樹しました。



組合員組織定期総会報告

令和7年度の役員体制をお知らせいたします。

農産関係

豊頃町麦作振興会

会長 原田 二次雄
副会長 堀田 和 稔
副会長 木 幡 豊

豊頃町加工馬鈴薯生産組合

組合長 松崎 哲也
副組合長 半谷 聡伸

豊頃町種子馬鈴薯生産組合

組合長 植村 有見
副組合長 平井 敦志

豊頃町北星豆類採種組合

組合長 吉村 和敏
企画部長兼会計 伊井田 光洋



畜産関係

豊頃町酪農振興会

会長 津久井 直弘
副会長 軍司 正人

豊頃酪農ヘルパー

有限責任事業組合

組合長 井下 清
副組合長 高木 春樹

豊頃町乳牛改良同志会

会長 鈴木 健司
副会長 門 晃嗣

豊頃町乳牛検定組合

組合長理事 田頭 保
副組合長理事 杉岡 慎也

豊頃町和牛生産改良組合

組合長 武隈 英和
副組合長 愛澤 利憲

豊頃町馬事振興会

会長 宝田 浩二
副会長 島崎 幸喜

宮農関係

豊頃町農協生き甲斐部（改選）

部長 永原 初男
副部长 渡部 健一

豊頃町農協青年部（改選）

部長 村上 剛丸
副部长 井下 慎吾
書記長 加島 知典
畑作部会長 岡光 祐樹
畜産部会長 門 伸洋

ＪＡ豊頃町女性部（改選）

部長 相澤 賀南子
副部长 按田 成子
副部长 永原 希美
すみれ部会長 加藤 京子
ミセス部会長 安藤 千里
フレッシュミズ部会長 坂口 かな恵

豊頃町農政協議会（改選）

執行委員長 高木 寿一
副執行委員長 伊井田 慎一
副執行委員長 安達 勝理
書記長 米澤 理

豊頃町総合家畜共進会 (乳牛・黒毛)

4月14日、豊頃農業機械センター倉庫にて町総合家畜共進会（乳用牛の部）を開催し、8戸、26頭が出陳しました。飼主ミツランデーリイ代表角倉輝氏による体や乳房のバランスなど一頭一頭、慎重な審査を行いました。

最高位に山本雅樹さん出品の「ロードビューチェリー ラムダX」、準最高位に山口雄峰さん出品の「エルムランド アンディミューズ ラムダ3415」が入賞しました。



5月30日、豊頃農業機械センター倉庫にて町総合家畜共進会（黒毛和種の部）を開催しました。12戸21頭が出陳し、十勝農業協同組合連合会 畜産課課長の山中格氏による毛並みや足及び胸部の力強さなど一頭一頭じっくり審査を行いました。

最高位に株式会社武隈ブリーディングファーム出品の「かすみ296」、準最高位に篠島太郎さん出品の「ふくまさ66」が入賞しました。



農野牛地区 青空教室

6月20日、十勝農業改良普及センターは農野牛普及活動重点地域夏期研修会を北海道立総合研究機構農業研究本部十勝農業試験場で開催しました。参加者は、道総研研究員よりリモートセンシング技術についての説明、豆類の適正施肥についての座学を受けた後、圃場へ移動しリン酸の量を変えた馬鈴薯の生育状況の説明を受けました。



麦作振興会 青空教室

6月20日、麦作振興会（組合長 原田二次雄）は夏季研修会を、十勝西地区川口修さんの小麦圃場で開催しました。晴天の中40名以上が参加。十勝農業改良普及センター十勝東部支所の職員は、小麦の生育状況、追肥時期などの説明をしました。



牛頭祭 入牧

5月下旬より始まる町営牧場への乳用牛の入牧に先立ち、5月14日に二宮牧場の一角において（作業の安全や乳牛の成育向上のため）放光寺住職が祈祷を行いました。按田武町長、NOSA十勝東部支所の早間才二次長、当JAの川口修専務理事のほか、町、JA職員が参拝しました。参席者の焼香後、按田町長は「事故なく入牧牛の管理をしていただき、牧場業務を無事に終えられるよう願っている。」と挨拶を述べました。

今年度は5月19日より各牧場で入牧が始まり、始めは二宮牧場でホルスタイン213頭、黒毛102頭、湧洞牧場、233頭、トイトッキ牧場193頭の牛が入牧。秋までのびのびと広い牧場を駆け回ります。



女性部 トイレットペーパーとタオルを寄贈



4月9日、女性部（部長 相澤賀南子）は、皆様から集めた牛乳パックを回収し発生した益金によりトイレットペーパーを購入し特別養護老人ホームとよころ荘に、トイレットペーパーとタオルを寄贈しました。

「老人ホームでは、物価が高騰していてトイレットペーパーやタオル類が不足しているので大変助かります」と施設長の金川さんより感謝の言葉をいただきました。引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ミセス部会 ナチュの森って??

6月9日～10日晴天に恵まれ、ミセス部会（部会長 安藤千里）18名で夏季研修に行きました。

虎杖浜の廃校になった中学校を大人も子どもも楽しめる体験型施設にリノベーションした低刺激スキンケアメーカー「ナチュラルサイエンス」と「ナチュラルアイランド」のスキンケア工園（こうえん）ナチュの森を見学しました。販売の化粧品は倶多楽湖の湧水を使用し、また工場職員の中には虎杖中学校の卒業生5名が在籍します。

工場内の撮影は禁止であり、場内職員の施設や製作工程の説明は無縁機を通じて行いました。ちょっとしたクイズやスキンケアの目視確認は楽しい体験でした。ショップでスキンケア商品を品定めしながら買い物を楽しみました。



ミセス部会・フレッシュミズ部会 焼肉交流会



毎年恒例になっておりますミセス部会（部会長 安藤千里）・フレッシュミズ部会（部会長 坂口かな恵）交流会は、4月16日Y'sハウスにおいて、新入部員歓迎会を兼ねた焼肉交流会を行いました。

昨今部員が減っているなか、新しく十弗地区の伊井田花子さんが加入。ミセス部員28名とフレッシュミズ部員7名、総勢35名で和気あいあいと交流しました。

フレッシュミズ部会 骨格診断講座

フレッシュミズ部会（部会長 坂口かな恵）はn i c o L I F E 武者先生を招き4月15日、研修講義室で骨格診断の講座を受講しました。

身体の質感やラインでの特徴から自分自身の体型を最もキレイに見せられるファッションアイテムを探すため、始めにセルフチェックを行いました。9個の問を各自で判断しその後先生が参加者一人一人をチェックしました。ストレート、ウェーブ、ナチュラルの3分類のうち自分がどのタイプになるかで、アクセサリーや生地の種類など今後のファッションに取り入れたいです。



すみれ部会 焼肉交流会



4月24日すみれ部会（部会長 加藤京子）は、部員が参加しやすい行事をしたいとY'sハウスで焼肉交流会を開催しました。

この日は22名が集まり、久しぶりに部員同士が顔を合わせたということもあり、会話が弾みました。



すみれ部会 花壇整備

6月12日、すみれ部会（部会長 加藤京子）は、農協前の花壇整備を行いました。

今年は、花壇のブロックを新しく入れ替え長さを短くし手入れをしやすくしました。始めは、まっすぐにブロックを並べるのに時間がかかりましたが、コツを掴むとスムーズに進みあっという間に新しい花壇の枠が出来上がりました。

そのあと、統内地区の部員がマリーゴールド約200本を植え道行く人へ癒しを提供します。



Y'sハウスにて青年部と職員の交流会を開催!



4月18日、青年部と農協職員の交流会を開催し、総勢46名が参加しました。

青年部村上部長の開会挨拶、職員組合吉村委員長の乾杯から会が始まり、各自焼肉を楽しみながら交流を深めました。会の途中では新入職員の自己紹介を行い、参加者は温かい拍手を送りました。

青年部と職員間、若い世代の新しい繋がりを作る機会となりました。

令和7年度 青年部&豊頃小学校 第1回食育授業を開催

豊頃小学校4年生19名を対象に、第1回目（5月）の食育授業を行いました。今回は、馬鈴薯、玉ねぎ、ナス、ピーマン、そして今年度は初の試みとして、4年生から育ててみたいと希望のあったアスパラ、ブロッコリーの播種・定植作業を行い、子どもたちは皆楽しそうな様子で作業に取り組みました。

今年の食育では小学生が植えた野菜の他、人参、トマト、きゅうり、スイートコーン、さつまいもを植えました。どのように野菜が成長しているか楽しみにお待ちください!

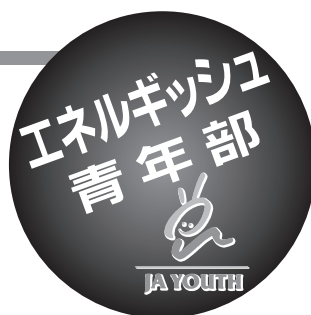


える夢キッズクラブ 酪農体験



5月17日、「第1回える夢キッズクラブ／酪農体験」（主催：町教委）を開催し、当農協青年部の役員をはじめ畜産部会員が農業体験の講師として町内の小学生に農作業を伝える活動を行いました。当日は、畜産部会長の門伸洋さん宅にて、農作業体験として肉牛へのエサやり、哺乳、馬のブラシ掛けなどの体験を指導。

哺乳体験では子どもたちと同じくらの目線の子牛たちが哺乳器を吸う力強さに驚きつつも懸命にミルクをあげている姿が印象的でした。また今回初めての試みである馬のブラシ掛けでは、子どもたちは間近にみる大きな馬に最初はおそろおそるではありましたが、懸命に作業を行いました。



青年部管内研修を実施！

6月9日に管内研修を実施しました。当日は24名の盟友が参加し、畑作と畜産に分かれて視察研修を行いました。

畑作は世界各国の農機具を輸入販売している芽室町の㈱アグリダイレクトを視察し、畜産は大樹町のメガファームである㈱サンエイ牧場を視察しました。

研修後は焼肉懇親会を行い、各自研修の振り返りや、農作業の近況などの話が尽きない様子でした。



下り線交流会

6月18日、カールプレックスおびひろにて、幕別町農協青年部主催の下り線ブロックスポーツ交流会を開催し、カーリング大会を通して盟友たちが交流を深めました。JA豊頃青年部からは役員4名が参加。カーリングを初めて体験する盟友も多いなか、白熱する展開のゲームを多く繰り広げました。

スポーツ交流の後は懇親会で更なる交流を深め、盟友同士の絆がより一層深まる機会となりました。



町内団体若手交流会

6月15日、豊頃町商工会青年部主催による交流会を開催しました。

町内各団体から参加者が集まる中、農協青年部、農協職員からも本交流会に参加し、参加者は6チームに分かれてミニバレーを通じて交流しました。

その後、パーゴラにて焼肉をしながら更なる懇親を深めたあとは、ロイヤルホテル内の二次会場に移動し、参加者の絆がより一層深まる交流会となりました。



米澤理さんの ブロッコリー畑より



豊頃中学校2年生の米澤愛唯さんと小学校4年生の悠太くん姉弟です。

暑いなか撮影のご協力ありがとうございます。

編集後記

今号からいくつか記事を担当させていただきました。新しい環境にまだ慣れませんが、組合員の皆様や周囲の皆様に助けられ、充実した日々を過ごせております。

今年の夏も暑い日が続いています。これから農繁期を迎えますが、熱中症や農作業事故に十分にお気を付けください。

企画係 Y. T

農繁期を迎え、暑い日が続いております。こまめな水分補給や汗とともに流れ出る塩分の補給を心がけていただくなど、引き続き熱中症対策や農作業事故にご注意いただければ幸いです。

今回取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

企画係 T. M

